

# 副専攻プログラム

Minor Programs

～広く、深く、自発的な学修でさらに自らを磨きたい学生のために～



副学長  
池上 知子

本学は総合大学の強みを生かし、学際性と実践性に富んだ副専攻プログラムを提供しています。学部の垣根を越えて修得する副専攻は、所属学部で学ぶ専攻とは一味違う学びを体験できます。激動する現代を生き抜くうえで、副専攻で培われるしたたかでしなやかなマインドは、必ず役に立ちます。ぜひ挑戦してみてください。

## ▶ グローバル・コミュニケーション副専攻

(GC副専攻:Global Communication minor)

グローバル・コミュニケーション副専攻(GC副専攻)は、入学した学部・学科で専攻をしっかり学びつつ、もっと英語で(外国語で)学べるようになりたいと考えている、意欲ある中～上級者のためのプログラムです。

GC副専攻の受講者は、入学後できるだけ早いうちに海外研修(必須)に出向きます。GC副専攻に正式登録した人だけが参加できる特別な研修「GC\_Int」は、カナダ・ビクトリア大学で開講されているGC副専攻専用の海外研修で、特におすすめです。「GC\_Int」に参加し、真剣に学修すると、英語のスキルをバランスよく伸ばすことができます。特に、一般的な日本人の弱点である語彙・流暢さを大きく伸ばすことができるのが特徴です。



ビクトリア大学ELC(English Language Center)外観

## 海外研修体験記



OGM  
(Osaka City University Global Members)  
商学部2年生  
けしろう  
下庄 ひかるさん  
宝塚北高等学校出身

### ▶ 研修先、研修期間を教えてください。

1年生の春休み1ヶ月間でカナダのビクトリアへ行きました。英語力の確認と向上が目的です。

### ▶ 英語力は生かされましたか？

当日のホテルや翌日のチケットの手配を空港スタッフにうまく伝えることができ、英語力に自信が持てました。今は、アカデミックな英語を話せるようになりたいと思っています。

### ▶ 研修を通じて学んだこと、成長したと感じることは？

カナダには移民が多く、さまざまな国の人が互いの文化を尊重しあいながら生活しています。また、それぞれが母国のことを誇りに思い、母国を自分のアイデンティティと認識しています。グローバルな人材になるためには、語学力はもちろん必要ですが、自国のいいところや文化について知っておくことが大切であることを学びました。また、日本の外に目を向け、積極的に多くの人と交流することで視野が広がったと感じています。

### ▶ 高校生にメッセージをお願いします。

時間に余裕のある大学時代に、海外へ行くほか、新しいことに積極的にトライしましょう。



素敵な先生たちと仲間に囲まれて毎日楽しかったです



1ヶ月お世話になったホストファミリーと



ダウンタウンから少し離れたsookeにて



## ▶ コミュニティ再生副専攻

(CR副専攻:Community Regeneration minor)



### 5分野から地域の「再生・賦活」「安全・安心」の達成にアプローチする

コミュニティ再生副専攻(CR副専攻)は、都市や地域社会の多様化・複合化した課題に向き合い、その解決の方策や理論を、学生が教員とともに学び合いながら、編み出してゆくプログラムで、地域社会のデザインやコーディネートに積極的に関わっていく人材の育成を目指しています。CR副専攻は、大きく「地域実践演習」「アゴラセミナーIa/Ib/II」「CR認定専門科目」の3つの科目群から成り立っており、「地域活性」「地域・文化資源」「地理・空間」「環境・防災」「地域福利」という5分野の視点に立って授業が展開されます。

## ▶ 授業の流れ

**地域実践演習**では、フィールドワークを中心に据え、地域の課題に対して正面から取り組む姿勢や方法を、地域に飛び込んで学びます。複数の分野から1つを選択します。(1・2年生)



**アゴラセミナーIa/Ib**では、5分野を背景にした現場に赴き、すごい人・すごい現場に出会うことを出発点に、実践家の多彩で卓越した活動に間近で接しながら、交流や意見交換を重ねて問題や課題を明確化していきます。(2年生～)



**アゴラセミナーII**では、CR副専攻での学びの集大成として、学生自身が地域課題・テーマを設定し、課題解決に向けて調査や活動を行い、現場との接し方やアウトカムの出し方、社会への伝え方を身に付けていきます。(3年生～)



**CR認定専門科目**では、大阪市立大学の各学部・学科で開講されている「地域・福祉・共生・社会・環境」等をテーマとした専門科目を、学部の垣根にとらわれず、幅広く学ぶことができます。(2年生～)

## 在学生からあなたへ

### CR副専攻を受講して



なかにし こうた  
中西 広大さん  
文学部4年生

CR副専攻では歴史や建築、防災など、多様な観点から地域を考えます。実践的な取り組みを通してこれらを網羅的に学べるのが、CR副専攻の一番の魅力です。また、異なる学部の学生や教員と議論しながら、地域課題の解決策を考えるのも総合大学ならではの学びだと思います。

私は地域実践演習IIIでは和歌山県新宮市を、またアゴラセミナーIa/Ib(の一部)およびアゴラセミナーIIでは大阪市西成区を対象に、まち歩きや地域の方々へのインタ

ビューを通して地域の魅力や歴史を発掘し、それらを地図上で見せる取り組みを行いました。実際に地域に入ってみると、予想以上にたくさんの興味深いお話や資料を入手でき、地域の記憶/歴史の奥深さに圧倒されました。

CR副専攻での経験から私が思うことは、地域はそこに生きる人々が作り出すたくさんの魅力にあふれた、「面白くて素敵な場所」だということです。みなさんもCR副専攻で身近な地域に飛び込み、地域の魅力や可能性を探してみませんか？